



■3D教育プログラムを導入することになったのは、内田先生が深く関わっていらつしやるということでしたが

当校では2003年度からプログラムを導入していますが、当時、教務担当だった私は、学校全体の底上げを図るため、生徒指導に活用できる、できるだけの確かな教材を探していました。心理分析をテーマにした教材はいくつもありましたが、導き出された結果に対して、どのように対処すれば良いのか、方向性を見出せないものばかりでした。

ある時、KA教育の菊地先生と知り合う機会があり、プログラムの存在を知りました。様々な話を伺う中で、「エゴグラム診断による分析結

果は、変えることができる」という言葉が印象に残り、本校に導入をすすめることを決めました。

■エゴグラム診断に関しては、学校として明確な目標があったようですが

導入当初の診断結果では、全体的にCPとAが低いと言う結果がわかりました。特にAは考える、処理する、判断する、計画をコントロールするといった重要な要素を含んでいるため、Aをアップさせることを目標に取り組んでおります。

■グループコミュニケーションは、どのように取り組まれていますか

員がAを上げて、多くの生徒が希望どおりの進学先を勝ち取ることができました。このクラスだけでなく、導入当初と比較すると、全体的にAをアップさせた生徒が多数見受けられます。

■マイチャレンジによる成果も見られたそうですが

こうしたプログラムは、なるべく切れ目なく継続していくことが理想なのですが、他にもこなさなければいけないスケジュールがあり、グルコミを切れ目なく実施することはできません。

ただ、このプログラムには「マイチャレンジ」があるので、これを継続していくことが、非常に重要だと



2009年夏に完成の新校舎

Growth for success

エゴグラム診断のAをアップさせるという当初の目的が達成できました

日本橋女学館中学校・高等学校

当校ではホームルームの時間にグループコミュニケーション（以下グルコミ）を実施していますが、プログラムを活用することで、生徒たちの良い面が引き出せていると思います。

ホームルームは自分の意見を述べたり、人の意見を聞くという意味で、授業とは違う意味で大事な時間です。活発に意見を交わすことは大事ですが、人の話に耳を傾けず、話が脱線することは好ましくありません。しかし、教材に沿ってグルコミをすすめていくと、メリハリのあるホームルームが実施できます。

■プログラム導入による、具体的な成果を教えてください

数年前、1年生の特進クラスを担

School Data

学校名 日本橋女学館中学校・高等学校
住所 〒103-8384 東京都中央区日本橋馬喰町 2-7-6
電話番号 03-3662-2507
HP Address <http://www.njk.ed.jp/>

【学校区分】私立高校・全日制・女子高

育成を目指すものです。3D教育プログラムの内容にも、相通ずるところが多分にあるため、プログラムをどのように活用していくか、現在検討している段階です。

■導入後、教員の方々には何か変化が見られましたか？

実は2年前、プログラムに関して教員にアンケートを実施しました。その結果、ほとんどの教員が、導入に関して成果を感じていることがわかりました。導入当初と比較すると、教員の意識が明らかに変化したと実感しています。

■現在の課題は何でしょうか

グルコミの時間がなかなかとれない、ということが一番の課題でしょう。私は2年生を受け持っていますが、2年は行事も多く、なかなか時間が取れないのが実情です。ただ、3学期には何とか時間を作り、グルコミの実施回数を増やしていきたいと思っています。

■今後の予定・計画について

当校では来年、「にほんばし学」という独自のキャリア教育プログラムを始動する予定です。これは、社会に出てから必要とされる三つの力、「コミュニケーション能力」「問題解決能力」「チャレンジ能力」の

★『3D教育プログラム』でココが変わった！

- ・数年前に比べ、エゴグラムのAをアップさせた生徒が多く見られた
- ・自分自身の行動を見つめ直し、改善できる生徒が増えた
- ・導入当初に比べ、プログラムに対する教員の取り組み方が向上した